

## 平成22年度 近畿地区公立中学校修学旅行委員会事業計画

### 〔基本方針〕

修学旅行は最大の学校行事であり、学校教育の総仕上げとして生徒の人間形成上重要な影響を与えてきた我が国独自の伝統的教育行事であります。

近畿地区公立中学校修学旅行委員会は、学習指導要領のねらいの一つである「自ら学び、自ら考える力」の育成と、修学旅行の三原則—安全性の確保・教育性の高揚・経済性の適正化—をめざして修学旅行のあり方を追究してきました。

今日、子どもたちの生活体験の不足、人間関係や連帯感の希薄化、集団や社会の一員としての自覚や責任感の低下等に対応して、自然・歴史・文化とのふれあい、人々との幅広い交流、正しい勤労観・職業観の育成などをめざした感動ある修学旅行の実現が期待されています。

本委員会は、長年の調査・研究活動で培ってきた成果を生かして、これからの修学旅行のあるべき姿を更に探究し、学校に示していくべきと考えています。

そのことを踏まえながら、『感動ある修学旅行の実現』を基本テーマとし、とくに学校教育計画と連動した内容へと充実するため「感性」のはぐくみや「学び」の内容を高めることを課題として研究をすすめてまいります。

### 〔重点推進事業〕

#### I 研究活動の充実

##### 1 第25回 近畿地区中学校修学旅行研究大会 (発表当番府県 兵庫県)

(1) 第25回 近畿地区中学校修学旅行研究大会を成功させるために、各府県の中学校・関係機関の協力を得て、『特色ある修学旅行の展開』について研究する。

- ・ 開催 日時 平成22年11月12日(金) 午後1時～4時10分
- ・ 会 場 尼崎市立教育総合センター
- ・ 研究テーマ 『特色ある修学旅行の展開』
- ・ 発表校 姫路市立城山中学校 大井 章弘 教諭  
—姫路市立中学校連合修学旅行を通して—(仮題)
- ・ 講演 北條 正樹 京都大学工学部教授 (予定)  
「科学への関心を、学びを育てる」(仮題)

- ◎ 時程
- ・ 1:00～1:15 (開会挨拶 来賓含む)
  - ・ 1:15～1:50 研究発表(姫路市立城山中学校 大井 章弘 教諭)
  - ・ 1:50～  
・ ~2:40 研究協議  
指導講評(兵庫県教育委員会 指導主事)
  - ・ 2:40～2:50 休憩
  - ・ 2:50～4:00 講演(京都大学 北條 正樹 氏)
  - ・ 4:00～4:10 閉会挨拶

(2) 研究大会の持ち方について

3年間研究大会の持ち方について検討してまいりましたが、「平成19年度から3年間は1校の研究発表と講義または講演の方式を続ける。」「その後は原則的には2校発表に戻す。」こととなっていました。平成21年度運営委員会で再検討した結果、一長一短はあるが、研究発表1校と講演の形式を続けるとなっております。

平成21年度	発表	滋賀県	(会場 滋賀県)
平成22年度	発表	兵庫県	(会場 兵庫県)
平成23年度	発表	和歌山県	(会場 和歌山県)
平成24年度	発表	京都府	(会場 京都府)

## 2 修学旅行実施状況調査

平成16年度までは近畿地区独自の調査を行なってきましたが、平成17年度以降は従前、実施してきた近公修委独自の調査に加え全国調査の内容（全国は抽出・三地区は悉皆）も一部調査してまいりました。

平成22年度も昨年と同様の調査を実施したい。（全修協のHP「修学旅行ドットコム」に掲載しPRもすすんできているが、学校へ還元する方法を検討していきたい。）

## 3 修学旅行現地研修会

### 《実施する理由》

今、子どもたちは、生活体験が不足していて、人間関係や連帯感が希薄であります。また、集団や社会の一員としての自覚や責任感が低下している等の様々な指摘もあります。そのことを踏まえ、中学校の修学旅行は生徒の成長を考え、生きる力を育てることを主とした体験学習を取り入れ、現在、80%以上の学校が実施するといった実態があります。

本委員会の現地研修会も平成12年度からは「体験学習の調査・開拓を中心とする研修」に切り替えてまいりました。各学校では、修学旅行の目的や生徒の実態に即した内容を開拓するために多くの関係者と努力されていますが、学校独自の調査・研究には限度があるようと考えています。

近年、職員旅費の問題や保護者負担の高騰で旅行先を検討する時期にもきているようです。研究大会や現地研修会で得た情報は各府県で報告され、大きな情報発信となっており、教育性の高揚・経済性の適正化・安全性の確保をめざして本年度も現地研修会を実施いたします。

### 《目標》

- ◎ これからの時代にふさわしい修学旅行先の研究・開拓（経済性の適正、安全性の確保）
- ◎ 教育性の高い体験学習の開拓。（教育性の高揚）

### 《研修先》

- ◎ 東北地方

### 《時期》

- ◎ 平成22年8月19日（木）～21日（土）

### 《目標参加人員》

- ◎ 各府県3～4名程度

### 《費用》

- ◎ 参加費 30,000円

## II 集約輸送について（近修委）

修学旅行実施状況調査においても、ここ数年費用の徴収が困難になってきているとの意見が増えています。近修委の集約輸送を利用すれば、関東・九州方面ともに高額の割引があり、信州方面の列車にも割引があります。保護者の負担を軽減する努力は学校としても社会情勢を考えれば当然のことといえませんが、生徒数は微増しているものの校数としては減少気味であります。関東、九州は独自も多く、集約輸送の優遇措置を近修委と協力してさらにPRする必要があると考えています。そのことは九州新幹線開通後の取り組みにも影響いたします。

## III 航空機を利用した沖縄・北海道への修学旅行（近修委・近公修委）

平成20年度から、沖縄・北海道（近畿地区から）への航空機運賃が値上がりするとの情報等があったため、平成20年度の両方面への修学旅行は減少しました。航空運賃については今後も引き続き検討を要する課題である。キャンセル料、最寄りの空港からの出発等の課題もあり、本委員会も近修委と協同することが重要と考えます。19年度、20年度、21年度と要望書を提出し、交流の場を設定してきており、今後も継続することが必要であります。

#### IV 情報ネットの充実について（事務局 全修協）

近公修委の事務局である全修協では、情報ネットを充実するため平成19年度より内容を整理し閲覧しやすいように改善を図っております。

関東、東海、近畿三地区公立中学校修学旅行委員会のすべての情報やその他修学旅行に関する情報も掲載しており、今後も広範囲で修学旅行に役立つ充実した情報を掲載することができるよう努力してまいります。

#### V 平成22年度の事業等予定（一部日修協・近修委の予定）

月	事業内容
4	○ 平成22年度諸活動の準備
5	○ 各府県委員名の確認
6	○ 発表校への委嘱状発送（兵庫県姫路市立城山中学校） ○ 各府県教委へ研究大会の後援名義使用許可願い発送（運営委員に依頼） （兵庫県教委へは来賓出席・指導助言者派遣依頼も） ○ 近公修委平成22年度総会（平成22年6月24日 梅田スカイビル） ● 近修委平成22年度総会（平成22年6月1日 大阪弥生会館）
7	○ 研究大会準備等 ○ 第27回 全国修学旅行研究大会 〔平成22年7月28日（水） グランドヒル市ヶ谷 会長・副会長等出席予定〕
8	○ 平成22年度現地研修会〔平成22年8月19日（木）～22日（土） 東北方面〕
9	○ 第1回 運営委員会（研究大会・その他）（平成22年9月初旬）全修協大阪事務局 ● 近修委委員会（集約輸送申込み等について）（平成22年8月26日〔水〕） ○ 平成22年度 修学旅行実施状況調査発送
10	○ 第2回 運営委員会（平成22年10月初旬）全修協大阪事務局 ○ 平成22年度 修学旅行実施状況調査回答回収（平成22年10月29日〔金〕） ● 近修委集約輸送申込み締め切り（平成22年10月29日〔金〕）
11	○ 平成22年度 近畿地区中学校修学旅行研究大会 開催日時 平成22年11月12日（金） 13:00～16:10 会場 兵庫県尼崎市 尼崎市立教育総合センター 内容 ・ 研究発表 兵庫県姫路市立城山中学校 大井 章弘 教諭 ・ 講演（北條 正樹 氏 京都大学工学部教授）（予定） ○ 修学旅行実施状況調査集計開始 ● 近修委委員会（大阪弥生会館 平成22年11月30日〔火〕 平成24年度集約輸送抽選会）
1	○ 関東・東海・近畿3地区公立中学校修学旅行委員会連絡会代表者会 〔平成23年1月27日〔木〕 会長・副会長出席予定 担当近畿〕
2	○ 第3回 運営委員会（反省と次年度の行事）（平成23年2月中旬）
3	○ 平成22年度のまとめと次年度の準備

（注） ●印は近畿中学校長会修学旅行専門委員会（日修協）主催の会議